

## SLX-M131R取扱説明書

NO:000001

この度はサウンド・アダプター SLX-M131Rをお買い上げいただき、ありがとうございます。取付ける前に、この取扱説明書をよく読んで正しくお使いください。

適応車種	適応年式	車両形式
アルファード(ナビ付き6スピーカー、リアモニター付き)	H17/4~H20/5	ANH10, ANH15, MHN10, MHN15
アルファードハイブリッド(ナビ付き6スピーカー、リアモニター付き)	H17/4~H20/5	ATH10

※6スピーカー及びライブサウンド専用です。スーパーライブサウンドには対応しておりません。

## ■本機の主な特徴

- 純正ナビ(モニター)をアンプ内蔵の市販2DINサイズのオーディオまたはナビオーディオに取替えることができます。
- 純正リアモニターを新ナビ・デッキのリアモニターとして使用できます。
- 純正ナビ(モニター)を取外した位置に新デッキを取付けるため、操作しやすく視認性の良い位置に新ナビが取付けられます。

## ■注意事項

- 純正ナビは取外すため、使えなくなります。
- バックインアシスト、レーンモニタリングシステム、車両情報、メンテナンス情報等の純正モニターを使用する機能は、機能の一部または全てが使えなくなることがあります。
- 純正クリアランスソナー、バックソナーは案内音声が出なくなります。(警告ブザー音は出ます)
- CDチェンジャー、MDチェンジャーなどの純正デッキに接続するオプション機器は使用できなくなります。
- メーター・オプションETC付車はETCのナビ連動機能は動作しなくなります。
- ディーラーオプションETC付車はETCが使用できなくなることがあります。
- リカバリー・ケーブルRCC1(別売)を取り付けることでETCが使用可能になります。
- 純正VTR入力端子は使用できなくなります。
- 後席ヘッドフォン端子は使用できなくなります。
- 後席ワイヤレスヘッドフォンは使用できなくなります。
- 純正アリーモコンの、リアモニターのオン・オフ／画質調整以外の機能は使用できなくなります。
- トヨタディーラーオプションナビを取付けるときは、純正金具に穴あけ加工が必要になります。

## ■純正システムについて

- 純正バックカメラの映像を新ナビ・デッキに出力するには、別売のバックカメラアダプターが必要です。
- 純正ブライドコーナーモニターの映像を新ナビ・デッキに出力するには、別売のバックカメラアダプターが必要です。(ブライドコーナーモニターの操作スイッチは動作しなくなります。)

	別途必要なオプションパーツ	新ナビ・デッキに必要な入力端子
純正リアモニターに新ナビ・デッキの映像を入力するには	本製品に付属の映像入力ケーブル(24ピン)	RCAのリアモニター(外部)出力端子
純正バックカメラの映像を新ナビ・デッキに映すには	BC15	RCAのバックカメラ入力端子
純正ブライドコーナーモニターの映像と純正バックカメラの映像の両方に新ナビ・デッキに映すには	BC15 + BC1※1	RCAのバックカメラ入力端子※2 + RCAのフロントカメラ入力端子※2

※1 純正ブライドコーナーモニターのみ使用したい場合でも、バックカメラアダプター(BC15)を取り付ける必要があります。このとき、BC15のバックカメラ出力端子には何も接続しないでください。

※2 新ナビ・デッキにフロントカメラ入力がない場合は、カメラセレクターCS1(別売)を取付けることにより、新ナビ・デッキのバックカメラ入力端子にブライドコーナーモニターとバックカメラの両方を接続できます。

## ■仕様

寸法 : 40×25×81.6 (巾×高さ×奥行) 重量 : 約150g(本体のみ)

## ■同梱品

アダプター本体、ナビ配線コネクター、パネル、ホルダー(LR各1)、サイドパネル(LR各1)、映像入力ケーブル、ナット(8)、ネジ(4)、保証書、取扱説明書(本書)

## ■取付け上の注意事項

- ※ 運転操作や車体の可動部分を妨げないように取付けること。**  
**※ パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけないこと。**  
**※ 水のかかる所、湿気、ほこりの多いところに取付けないこと。**

**※ 説明書に沿わない取扱による不具合またはミスによって生じた損害につきましては、当社はその責任を負いかねますので、ご装着の際はあらかじめ了解ください。**

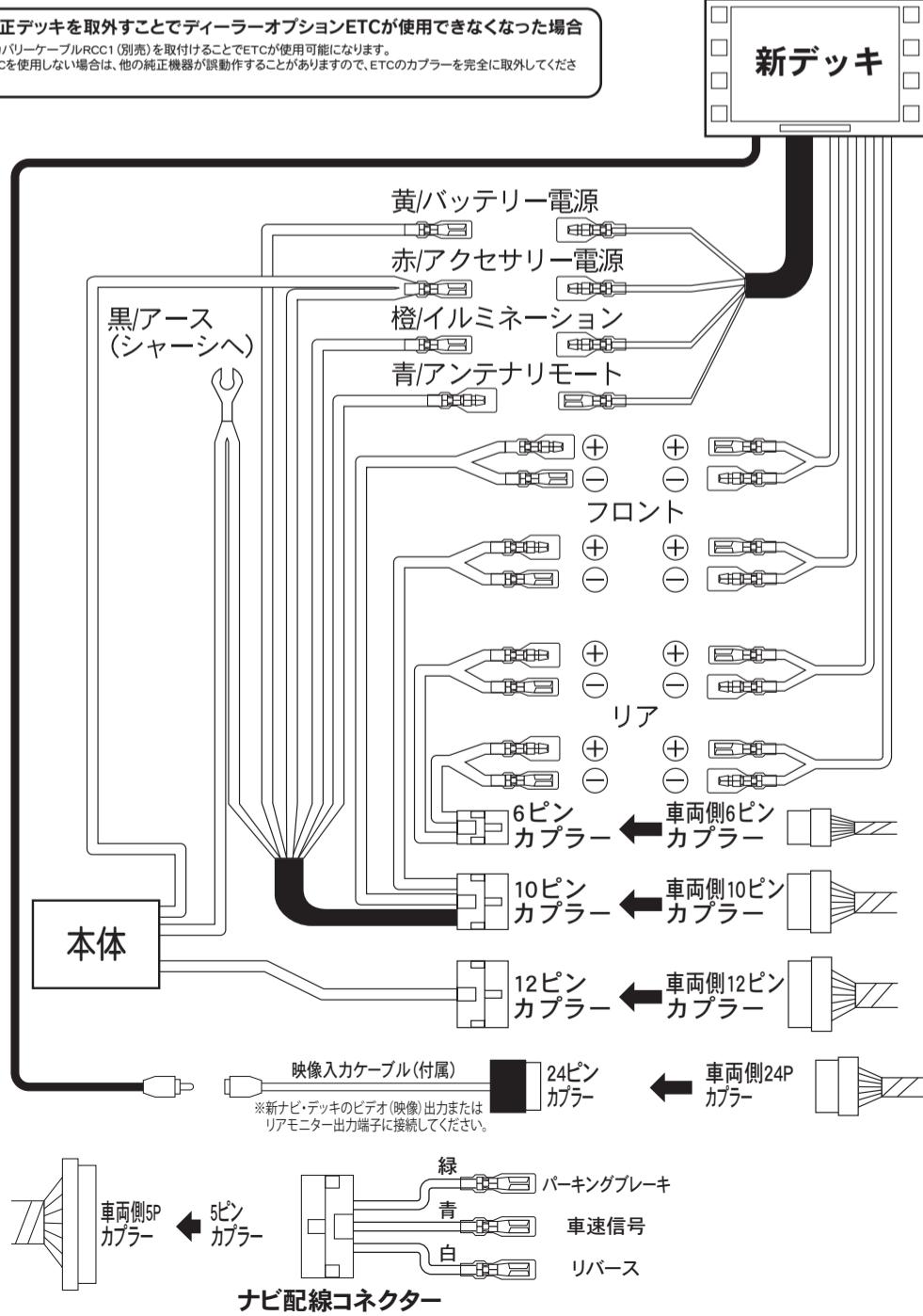
(株)ビートソニック〒470-0112 愛知県日進市藤枝町こうしん472-5

TEL 0561-75-1655 / 0561-74-5592 FAX 0561-74-5595

URL : <http://www.beatsonic.co.jp>

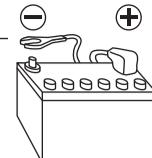
## ② アダプターの取付け

※純正デッキを取外すことでディーラーオプションETCが使用できなくなった場合  
リカバリー・ケーブルRCC1(別売)を取り付けることでETCが使用可能になります。  
ETCを使用しない場合は、他の純正機器が誤動作することがありますので、ETCのカブラーを完全に取外してください。



## △ 取付作業を行う前のご注意

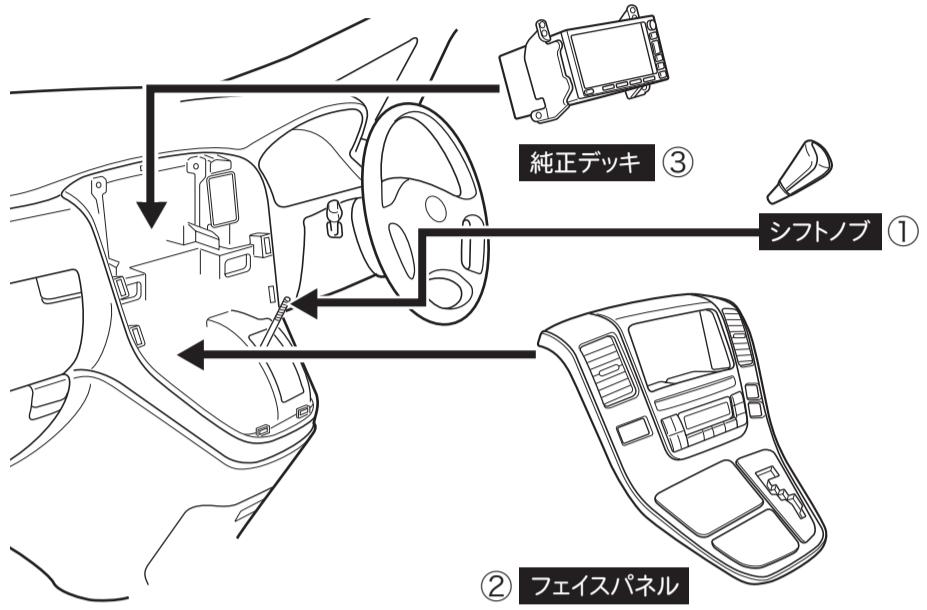
- 配線作業中はバッテリーのマイナス端子を外してください。
- 車体の板金部近くを通るコードには、保護テープを巻いてください。
- 取付後、ブレーキランプ、ヘッドライト、ウィンカー、ワイパーが正常に動作することを確認してください。



※ 作業を行う前に必ず、純正デッキの動作確認を行ってから取付作業を開始してください。(純正デッキが正常に動作しない場合は、本機を取付けても正常に動作しません。)

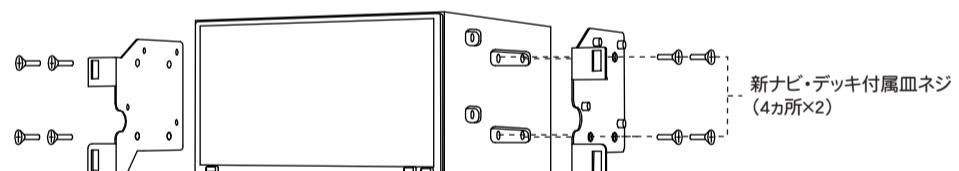
## ① 純正デッキの取外し方法

- シフトノブを取り外します。
- フェイスパネルを取り外します。(フック13ヶ所)
- 純正デッキを取り外します。(ネジ4ヶ所)

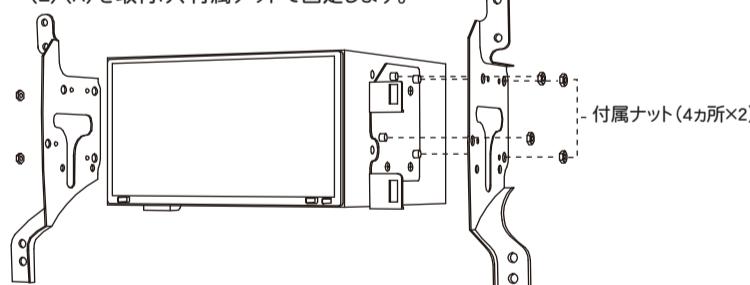


## ③ 新デッキの取付け [市販ナビを取付ける場合]

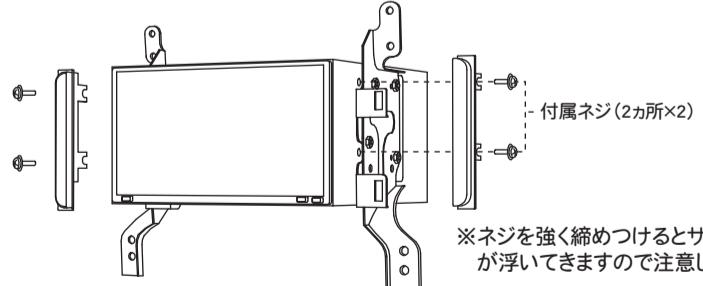
1. 新ナビ・デッキ付属の皿ネジで、付属ホルダー(L)(R)を新ナビ・デッキに固定します(4カ所×2)



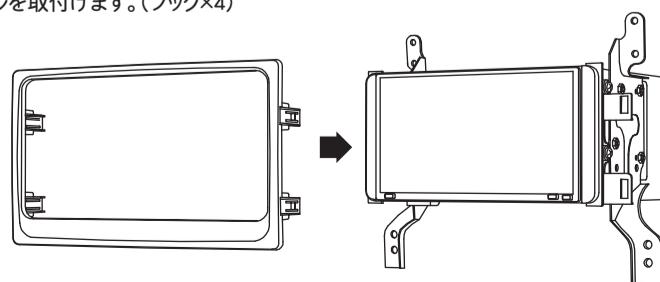
2. 純正ホルダー(L)(R)を取り付け、付属ナットで固定します。(4カ所×2)



3. サイドパネル(L)(R)の両面テープ剥離紙を剥がし、新ナビ・デッキの側面に貼付けてから付属ネジで固定します。(2カ所×2)



4. 付属パネルを取付けます。(フック×4)



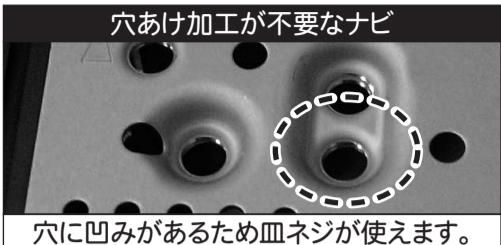
5. 新ナビ・デッキを車両に取付け、残りの純正パーツを取り外したときと逆手順で組み付けてください。

## ④ 新デッキの取付け [トヨタディーラーオプションナビを取付ける場合]

トヨタディーラーオプションナビにおいて、皿ネジ非対応の機種があります。この場合、純正ホルダーに穴あけ加工が必要となりますので、下記手順に従って取付けてください。  
皿ネジ対応の機種を取付けるときには、前項の「③新デッキの取付け[市販ナビを取付ける場合]」の項目に従って取付けてください。

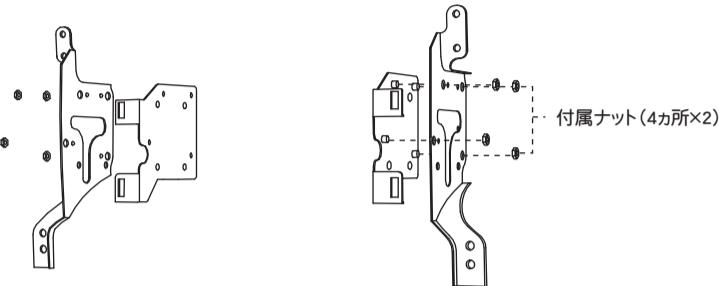


穴に凹みがないため皿ネジが使えません。

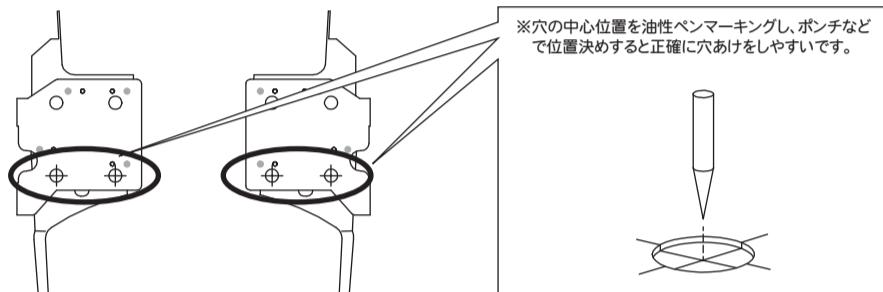


穴に凹みがあるため皿ネジが使えます。

1. 純正ホルダー(L)(R)に付属ホルダーを取り付け、付属ナットで固定します。(4カ所×2)



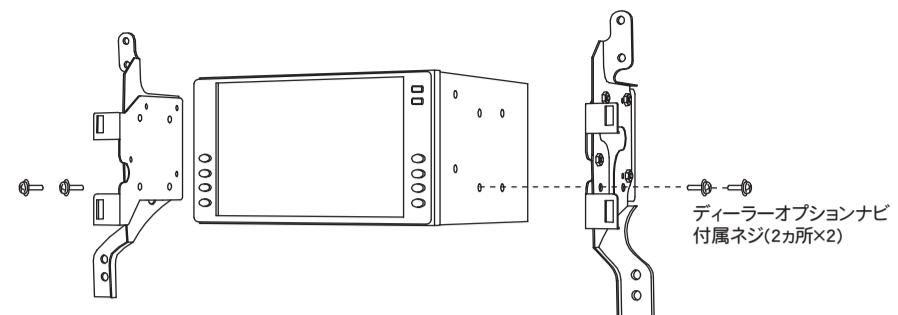
2. 「1」で組み付けたホルダーにドリル等で5.5mmの穴を開けます。(2カ所×2)



※穴の中心位置を油性ペンマーキングし、ポンチなどで位置決めると正確に穴あけをしやすいです。

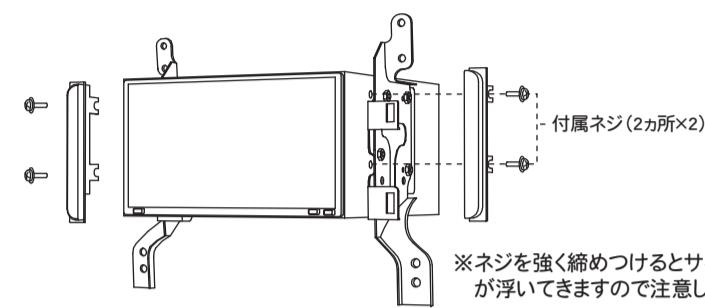
**注意** ※電動ドリルをご使用の際は、必ず防塵ゴーグルと専用グローブを使用し、けがをしないよう注意して作業をしてください。(軍手をしての穴あけは絶対にしないでください。)

3. ディーラーオプションナビに付属のネジで、ホルダーをディーラーオプションナビに固定します。(2カ所×2)



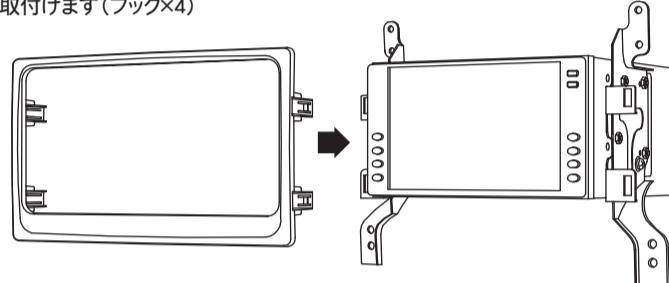
2DINサイズのディーラーオプションナビを取付ける場合

サイドパネルの両面タープ剥離紙を剥がし、新デッキの側面に貼付けてから付属ネジで固定します。(2カ所×2)



※ネジを強く締めつけるとサイドパネル前方が浮いてきますので注意してください。

4. 付属パネルを取付けます(フック×4)



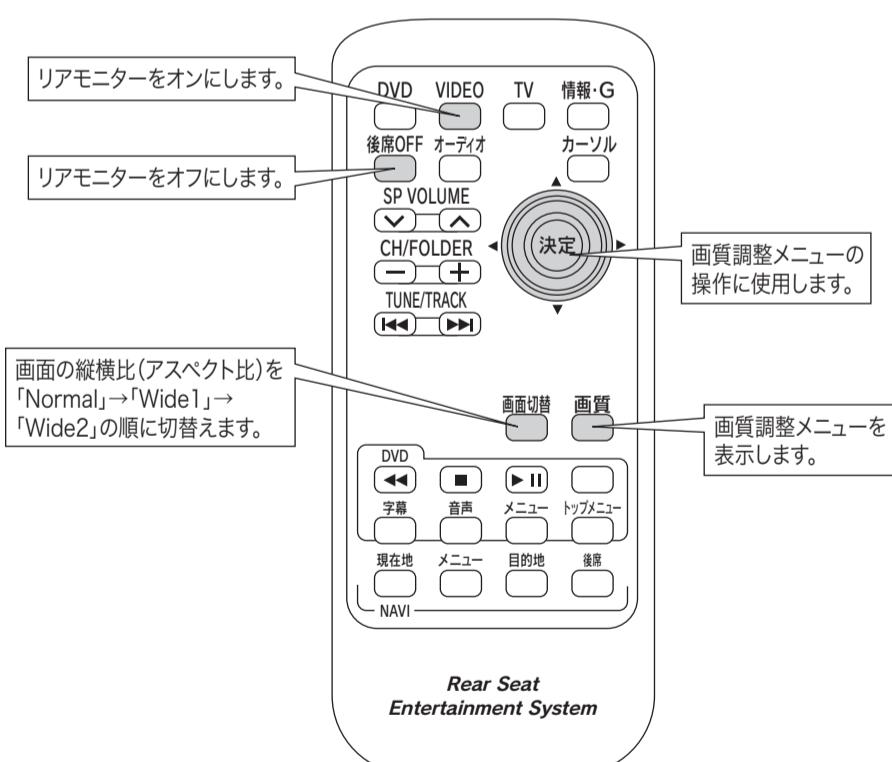
5. 新ナビ・デッキを車両に取付け、残りの純正パーツを取り外したときと逆手順で組付けてください。

## ⑤ 新デッキの動作確認

本体とオーディオを接続した時点でのオーディオの全機能が動作するか確認してください。

## ⑥ 純正リアリモコンについて

本製品では、純正ナビを取り外すため、純正リアリモコンは下記のボタンのみ使用できます。



※上記以外のボタンは動作しません。